

台風19号による被害を受けた市指定重要文化財(天然記念物)
清浄光寺の大イチョウの扱いについて

1 被害状況

2019年10月12日の台風19号による強風で、幹が大きく割け、一部が折損した。
(次頁【被害状況の写真】参照)

2 樹木医による診断結果

- (1) 調査年月日 2019年11月7日(木)
- (2) 調査対象 市指定重要文化財(天然記念物) 大イチョウ
- (3) 所在地・所有者 西富1-8-1・清浄光寺(遊行寺)
- (4) 樹木医 富田 改 氏 ((株)湘南グリーンサービス相談役) ほか
- (5) 総合判定

ア 今回の大枝の落下は、台風19号による強風が直接の原因ではあるが、イチョウ内部の腐朽で枝の付け根の材が脆(もろ)くなっていたことも大きな要因であると思われる。樹勢の判定は「不良」である。

イ 枝の伸び、葉の付き方に問題なく、枯れこんでいる様子はないので樹勢は衰退傾向にはない。

ウ 今回大枝が落下して幹に大きな開口ができたことにより、樹幹は今までより脆くなったと考えられる。周囲への危険防止のために何らかの処置は必要である。

(6) 保全処置

上記(5)総合判定の結果を踏まえ、大イチョウの保全と周辺への危険防止のため、次の処置を行う。

ア 開口空洞を塞ぐ処置

イ 落ち枝防止、倒木防止のための軽量化剪定

3 市指定重要文化財の扱い

2019年11月18日に開催した市文化財保護委員会において、上記事項を報告し、市指定の継続の承認を得た。

以上

【被害状況の写真】

